

展開する事業群(1-1-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり		
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援		
基本施策分野		母子の健やかな心と身体の育成支援		
事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
妊婦・周産期の母子保健事業の推進	母子健康手帳の交付	こども福祉	H22～26	妊娠届 607 (11週以内の届け出 570 93.9%) 転入 55 母子手帳 613(双胎・再交付) 基本健診14回分、諸検査の費用を助成 助成総額:44,810,478円
	妊婦健康診査費助成事業	こども福祉		184件 助成総額 581,440円
	妊婦歯科健康診査費助成事業	こども福祉		
	不妊治療費助成事業 (健康保険適用分、特定不妊治療) (再掲2-(1)-)	こども福祉		不妊治療保険適応分(市助成分) のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ30人
	パパママセミナー (再掲1-(1)-、1-(2)-、1-(3)-)	こども福祉		実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人
産後ホームヘルパー派遣事業	こども福祉	実人数 10人 のべ派遣時間 196.5時間		
乳幼児期の健康診査事業の推進	3か月児健康診査 (再掲2-(3)-)	こども福祉	H22～26	年24回 対象児:558人 受診者:555人 受診率:99.5%
	1歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:623人 受診者:583人 受診率:93.9%
	3歳6か月児健康診査 (再掲2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:704人 受診者:609人 受診率:86.9%
乳幼児期の相談事業の推進	10か月児発達相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	2歳児発達相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談
	転入時アンケート (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所91人実施 転入者346人中 290人回収(83.8%)
乳幼児期の訪問指導の推進	妊産婦訪問	こども福祉	H22～26	妊婦9人 産婦495人(のべ496人)
	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	こども福祉		対象児:560人 受診者:522人 受診率:93.2%
	養育支援訪問事業 (再掲2-(3)-)	こども福祉		42件
	乳幼児訪問	こども福祉		乳児479人(のべ482人)幼児33人(のべ34人) 新生児 6人 未熟児5人(のべ6人)
	障がいのある児童の訪問 (再掲2-(2)-)	こども福祉		34件
* 1 感染症予防対策の充実	予防接種事業	こども福祉	H22～26	ポリオ98%MR 期88.1% MR 期95.7%MR 期94.3% MR 期83.9% 三種混合 110.6% 二種混合 82.5% 日本脳炎 110.6%BCG103.6% 7・小児肺炎球菌予防接種に対する費用全額助成(23年1月から開始) * 2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 7・ のべ514回 小児肺炎球菌 のべ635回
	感染症に係る危機管理	安心まちづくり室		危機管理体制を備えているが、大規模災害と同様の新型インフルエンザなどの感染症が <b>地域的に流行</b> していないため会議等は実施していない。
	感染症に係る情報提供	健康衛生		・新型インフルエンザ予防接種費の助成、また、予防啓発、接種の情報をホームページ・広報・チラシに掲載した。 ・HIV検査週間、エイズ月間に啓発ポスターを庁舎に掲示及びホームページに掲載、また、パンフレットを成人式で配付。 ・ハンセン病に係るリーフレットを窓口に設置。
	感染症予防事業 (肝炎ウイルス予防検診、結核住民検診)	健康衛生		・検診の情報を各戸配布・市のホームページ・広報に掲載した。精密検査対象者には、受診勧奨を行い、経過を記録した。 ・肝炎ウイルス検診については40歳に受診票を送付し受診機会の提供を行った。
1 京田辺市健康増進計画の策定及び実施( )	京田辺市健康増進計画の策定及び実施( )	健康衛生	H22～26	・「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体とアテンドや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。(協議会3回開催、ワ-キング部会4回開催)
絵本にふれる機会の充実	おはなし会 (おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ)	社会教育	H22～26	中央館 61回・1,176人 北部分室 57回・649人 中部分室 27回・470人
	ふれあい絵本スタート事業	こども福祉		こんにちは赤ちゃん事業にて、絵本の配布 560冊
リフレッシュのための事業促進	一時保育事業 (再掲1-(3)-、1-(3)-)	こども福祉	H22～26	年間2,115人が利用した
	ファミリーサポートセンター事業 (再掲1-(3)-)	こども福祉		活動件数 2,520件 ・会員数 依頼(おねがい)会員 255人、提供(おまかせ)会員 94人、両方(どっちも)会員29人。合計378人 広報紙等で随時募っている。目標:会員数300人(依頼、援助 共) 目標達成
健康情報システムの充実	「健康手帳」の配布	こども福祉	H22～26	946冊
	母子健康管理システム	こども福祉		7・肺炎球菌ワクチン接種開始に伴う予防接種システム変更 母子健康管理システム定期保守
1 子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成( )	子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成( ) (再掲1-(2)-、3-(2)-)	こども福祉	H22～26	1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加
	市民への応急手当の普及 (再掲1-(2)-)	消防署		・普通救命講習会 6回 81名 ・救急指導 8回 146名

展開する事業群(1-1-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		保育所、幼稚園、小・中学校における健やかな身体の育成支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
保育所における児童の健康づくり	保育所における健康診査等の実施 ・内科、歯科健康診査 ・尿・ぎょう虫検査 ・視力測定	こども福祉	H22～26	内科・歯科健康診査を、各所とも年間2回開催した 尿・ぎょう虫検査、各所とも年間1回開催した 視力測定は、河原・草内・三山木各保育所で年間2回開催した
	食中毒等の予防(職員の検便)	こども福祉		全保育士に対して年12回の検便を行った
	歯みがき教室等の保健指導 ・歯科衛生士による歯みがき教室 ・保育所職員に対する保健研修	こども福祉		歯科衛生士による歯みがき教室は、4園で4回開催した 手洗い教室を全7保育所(園)で実施した。 保育所職員に対する保健研修、4園で4回開催した
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	児童の健康教育実施等に係る相談・支援等 (再掲1-(1)-)	学校教育課	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習) (再掲1-(1)-)	健康衛生		・小学校での活動4回(115人) うち未来君 三山木小学校 6年 63人(2クラス)
	小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施) 健康教育 ・エイズに関する指導を含む性教育	学校教育		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。 エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
幼稚園における児童の健康づくり	市立幼稚園健康管理事業 ・定期健康診断の実施 ・歯みがき指導	学校教育	H22～26	定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。歯みがき指導を各園で実施。
	私立幼稚園健康診断事業への補助 (市内私立幼稚園への補助)	学校教育		市内2園の私立幼稚園に対して、内科検診及び歯科検診を実施した補助として1名1種につき1,000円の補助を行った。

展開する事業群(1-1-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		食育の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
母子保健事業における食育事業	パパママセミナー(栄養・調理編) (再掲1-(1)-、1-(2)-、1-(3)-)	こども福祉	H22～26	実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人 妊娠届数607(初産妊婦 266) 参加率:29.6%(48.2%)
	離乳食教室(前期・後期)	こども福祉		年24回 前期 555人 年12回 後期513人
	幼児食の指導相談	こども福祉		年12回 1歳6ヶ月健診で585人
2 児童館における食育事業( )	伝統食等の調理実習( )	こども福祉	H22～26	「ちまきをつくろう」(5月29日開催) 高齢者を講師に迎え、世代間交流を兼ねた料理教室として実施。 小学生13名参加
3 保育所、幼稚園、学校における食育事業( )	保育所給食等における食育の指導( )	こども福祉	H22～26	各所とも行事食の実施、展示食の実施を行った 食と生活リズムのアンケートを年間1回実施 給食だよりを年間12回発行
	幼稚園、学校等における食育の指導	学校教育		市立小学校9校でしょくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。
	食農体験	農政		普賢寺地域における収穫イベントを実施した。 小学校で玉露のお茶の入れ方教室を実施した。
	学校給食等における地元産野菜の導入	農政		学校給食における地産地消として、京田辺産の米、天王の味噌、たけのこ、シロナ、白菜、大根、海老芽、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なすに加え、平成22年度はカボチャを導入。
2 健康づくり事業における食育事業( )	食育推進計画の策定及び実施( )	健康衛生	H22～26	「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体とアリンクや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。(協議会3回開催、ワ・キング部会4回開催)
	疾病予防及び健康増進のための食育事業 ・プランニング・ユア・ライフ	健康衛生		教室回数全6回 参加実人数88人
	食生活改善推進員による食生活改善普及活動	健康衛生		普及活動80回(延べ3,030人)
地域における食育事業	地域における食育事業 ・公民館等における調理実習	社会教育	H22～26	料理教室(中央公民館事業)全5回延べ80人参加 そば打ち教室(北部住民センター事業)全5回 延べ44人参加 手作りパン教室(北部住民センター事業)全5回 延べ98人 ケーキづくり教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回延べ146人参加 洋食ランチ料理教室(中部住民センター事業)前期・後期全6回 90人参加 和風スイーツ教室(中部住民センター事業)前期・後期全10回 延べ125人参加

展開する事業群(1-1-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		思春期からの健康づくり支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
* 2 思春期～青年期の健康づくりの支援	性に関する啓発事業 (エイズパンフレット配布)	健康衛生	H22～26	エイズに関する予防啓発パンフレットを成人式で配付。
	思春期保健学習会 (保育所、幼稚園、小・中学校及び母子保健担当係とのネットワーク構築)	こども福祉課 学校教育		未実施(人権教育保健部会がその役割を果たしている)
	子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業*	健康衛生		中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成のべ393回
小・中学校における児童・生徒の健康づくり	児童の健康教育実施等に係る相談・支援等 (再掲1-(1)-)	学校教育	H22～26	エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
	「未来君」の食生活支援事業(6年生に調理実習) (再掲1-(1)-)	学校教育		・小学校での活動4回(115人) ・未来君 三山木小学校 6年 63人 2クラス
	小・中学校健康管理事業(定期健康診断の実施) (再掲1-(1)-)	学校教育		定期健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻科、結核、心臓検診及び尿・ぎょう虫卵検査)を1回実施。
	健康教育 (再掲1-(1)-)	学校教育		エイズに関する指導を含む性教育及び喫煙・薬物乱用の防止等の授業を実施
子育てセミナー	子育てセミナー (再掲1-(2)-、1-(3)-、2-(1)-、3-(1)-)	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人

展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
4 子育て支援医療費の助成( )	子どもの医療費の助成( ) (再掲2-(1)-)	こども福祉	H22～26	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院: 652件 26,370千円 入院外: 87,042件 126,324千円
小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	小児慢性特定疾患日常生活用具の給付	こども福祉	H22～26	0件
医療体制の整備・充実のための働きかけ	小児救急電話相談「#8000」	こども福祉	H22～26	子育てマップ等による市民への周知 広報誌に掲載
	小児救急医療体制	こども福祉		子育てマップ等による市民への周知 広報誌に掲載
関係機関との連携強化	関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等)	健康衛生	H22～26	年間69日開設、受診者数803人(1日平均11.64人) ・病院群輪番制の利用1人、八幡市休日応急診療所の利用9人。 ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(管内では宇治徳州会病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・府の京都健康医療よろづネットの活用をした。
自立支援医療給付事業の推進	自立支援医療給付事業の推進 (再掲2-(2)-)	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 37名
母子家庭医療費助成事業	母子家庭医療費助成事業 (再掲2-(2)-)	国保医療	H22～26	平成22年度給付実績 1,936件 32,353千円

展開する事業群(1-2-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野		子育てに関する意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績	
男女共同参画に係る啓発	各種広報、啓発、イベント、研修等の充実 (ふれあい夢フェスタなど) (再掲1-(3)-)	市民参画	H22～26	・ふれあい夢フェスタ 参加者400人 ・講演会(講師:京都大学大学院文学研究科教授伊藤公雄さん、「男女共同参画で、男女の元気、社会の活気を生み出そう」、110人参加)	
	学習機会の充実 (女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの関連図書等の貸出しなど) (再掲1-(3)-)	市民参画		・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ124人	
地域子育て井戸端会議	市立幼稚園における地域子育て井戸端会議	社会教育	H22～26	市内8幼稚園 合計14事業 参加総数941人	
広報広聴の充実	子育てセミナーや研修会の市民への広報の充実 (学びの情報誌、チラシ等の活用と内容充実)	社会教育	H22～26	学びの情報誌やチラシ等の活用により事業のPR活動を行った。	
子育ての学習機会の充実	子育てセミナー (再掲1-(1)-、1-(3)-、2-(1)-、3-(1)-)	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人	
	パパママセミナー (再掲1-(1)-、1-(1)-、1-(3)-)	こども福祉		実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人 妊娠届数607(初産妊婦 266) 参加率:29.6%(48.2%)	
	絵本の紹介(発達相談に合わせて実施)	こども福祉		未実施	
将来における少子化や子育てに係る関心の喚起	啓発活動の実施 ・広報紙への記事掲載 ・パンフレットの配布	こども福祉	H22～26	センターだより 1回/月(センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月) 子育てマップの配布	
	「保育のつどい」の実施	こども福祉		第20回保育のつどいを10月23日に開催 参加者は2,100人	
児童虐待防止に係る啓発	ホームページの充実 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	「STOP!こども虐待、リフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載	
	パンフレットの配付( ) ・市民 ・子育て関係者 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		「STOP!こども虐待、リフレット全戸配布 26000枚 児童虐待対応マニュアル作成、配布 2000冊 こどもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成	
地域子育て支援拠点事業の推進	地域子育て支援センター事業	こども福祉	H22～26	河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放1,530人 親子あそび1,473人 すくすくサロン170人 サークル活動のサポート出勤保育895名	
	子育てひろば事業	こども福祉		子育てひろばてふてふを平成22年7月開設。 利用者 5,482人(7～3月分)	
相談事業の充実	保育所における相談事業 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	年間1,112人から相談を受けた	
	児童館における相談事業 (再掲2-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	
	地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	
	家庭児童相談室での相談事業 (再掲2-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯	
相談事業の充実	10か月児発達相談 (再掲1-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%	
	2歳児発達相談 (再掲1-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%	
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人	
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-、2-(1)-、2-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所91人実施	
	転入時アンケート (再掲1-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		転入者346人中 290人回収(83.8%)	
	民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	社会福祉		H22～26 地域の中で相談援助活動を行っている民生 委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施 できるよう、研修等による支援を行った。	
	幼稚園での子育て相談事業 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	小・中学校での教育相談 (再掲2-(1)-、2-(1)-、2-(3)-)	学校教育			教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・校内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。

展開する事業群(1-2-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野		子育てに関する情報提供の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
7 8 9 1 5	「広報京たなべ」による情報発信の充実 (子育て支援に関する情報提供や意識啓発の充実)	関係各課	H22～26	こども福祉:子育て支援事業・相談事業等を掲載 施設管理:市民記念植樹祭 H23.2月号 市民参画:女性交流支援ルーム協働事業の開催案内掲載 社会教育:子育てに係る情報を掲載 社会体育:京田辺市内であるスポーツイベントについて掲載 (京たなべ・同志社スポーツクラブにおけるスポーツ教室等) 社会福祉:子育てサロン等の開催を掲載 障害福祉:障害児関連のイベント掲載(サマースクール) 消防署:「広報京たなべ」22回「京田辺市生涯学習だより」4回 都市計画:ハリアリ基本構想策定に係るタウンウォッチングの参加者募集、パブコメの実施、都市マス改訂に係るパブコメの実施を掲載 三山木整備:JR三山木駅における二方向貫通型エレベーターが完成について掲載
	ホームページによる情報発信の充実( )	こども福祉		子育て支援事業、相談事業等を掲載
	地域子育て支援センター・子育てひろばからの情報発信( )	こども福祉		てふてふだより1回/2か月・センターだより 1回/月 (センター及び児童館・市役所等での設置) 子育て支援事業、相談事業等を広報紙に掲載している(原則2回/月) てふてふ案内リーフレット作成 2000部
	子育てガイドブックの発行 ・子育てマップの発行 ・子育て外遊びマップの発行( )	こども福祉		子育てマップ3000部作成 保育所、幼稚園、市内公共機関で配布 子育て外遊びマップは未実施
	外国語母子健康手帳の交付 (再掲2-(2)- )	こども福祉		発行:英語1冊 中国語 1冊
	子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成( ) (再掲1-(1)- 、3-(2)- )	こども福祉		1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加
	児童虐待防止の広報・啓発 ・市民に対する広報・啓発(ホームページの充実) ・児童に係る関係者に対する啓発(子育て関係者にパンフレット等の配布( ) (再掲1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 児童虐待対応マニュアル作成 配布 2000冊 こどもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成 関連事業HPに掲載
市民への応急手当の普及 (再掲1-(1)- )	消防署	・普通救命講習会 6回 81名 ・救急指導 8回 146名		

展開する事業群(1-2-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(2)	子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実
基本施策分野		次代の親育成の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
10	思春期育児体験教室 (中学生が乳幼児に触れ合う機会を持つ)	こども福祉	H22～26	てふてふで実施 12月24日中学生2名参加
	保育所における子どもとのふれあい体験事業	こども福祉		各所とも年間96回開催した
	児童館における子どもとのふれあい体験事業( )	こども福祉		大住児童館1月22日人形劇鑑賞会 乳幼児親子と小学生 78人参加 普賢寺児童館 12月15日クリスマス会人形劇 1.2歳児30人幼稚園児12人小学生62人参加
	学生ボランティア支援事業	学校教育		同志社女子大学等の学生ボランティアによる保育の支援 6園に17名配置
明日の親となるための子育て理解講座	中学生を対象とした子育て理解講座	社会教育	H22～26	大住中学校 2月23日 239人参加 田辺中学校 3月8日 142人参加

展開する事業群(1-3-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野		仕事と子育ての両立を図るための支援策の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
1.1	ファミリー・サポート・センター事業の推進( ) (市民の相互扶助活動の推進) (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	活動件数 2,520件 ・会員数 依頼(おねがい)会員 255人、提供(おまかせ)会員 94人、両方(どっちも)会員29人。合計378人。広報紙等で随時募っている。 目標: 会員数300人(依頼、援助 共)
	一時保育事業の推進 (再掲1-(1)- 、1-(3)- )	こども福祉	H22～26	年間2,115人が利用した
1.2	病児・病後児保育事業( ) (再掲1-(3)- )	こども福祉	H22～26	病後児保育 12人
3	子育て短期支援事業( ) ショートステイ事業( ) (再掲2-(3)- )	こども福祉	H22～26	未実施
	留守家庭児童会の充実 (再掲1-(3)- )	社会教育	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。

展開する事業群(1-3-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野		多様で弾力的な保育サービスの充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
1.2	通常保育事業	こども福祉	H22～26	年間11,173人
	延長保育事業	こども福祉		早朝延長保育は、1日あたり延べ、288人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、277人が利用した
	一時保育事業 (再掲1-(1)- 、1-(3)- )	こども福祉		年間2,115人(のべ)
	病児・病後児保育事業( ) (再掲1-(3)- )	こども福祉		病後児保育 12人
	低年齢児保育(産休明け児童の保育)	こども福祉		年間16人
	民間保育所運営助成	こども福祉		3つの民間保育園に年間50,352,144円の運営補助金を交付
1.3	公立保育所の整備(河原保育所)	こども福祉	H22～26	園舎は21年度に完成 22年度は、園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を行う
	民間保育所の整備補助( )	こども福祉		松井ヶ丘保育園に移転整備工事に補助金(204,393,000円)を交付した
1.4	留守家庭児童会 (再掲1-(3)- )	社会教育	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。
	放課後子どもプラン( ) (再掲2-(1)- )	社会教育		年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3677人
	幼稚園における預り保育 ・市立全園で実施	学校教育	H22～26	8園で延べ696日、3,294人が利用した。 1日平均4.73人

展開する事業群(1-3-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野		男女共同子育ての推進

15

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進( )	第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進( )	市民参画	H22～26	第2次京田辺市男女共同参画計画の策定(平成23年3月) 第1次京田辺市男女共同参画計画の成果と課題の整理
	各種広報、啓発、イベント、研修等の充実(再掲1-(2)- )	市民参画		ふれあい夢フェスタ 参加者400人 講演会(講師:京都大学大学院文学研究科教授伊藤公雄さん、男女共同参画で、男女の元気、社会の活気を生み出そう。、110人参加
	学習機会の充実(再掲1-(2)- )	市民参画		女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ144人
	市民リーダーの養成(京都府女性の船への参加補助、市民活動の支援)	市民参画		京都府女性の船参加者4人、参加補助金交付2人 市民活動推進補助金の交付 3件
	女性の相談室(一般相談、専門相談、法律相談、女性の再就職・チャレンジ相談)(再掲2-(2)-、2-(3)- )	市民参画		専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 出張相談 年7回、17件相談 一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 チャレンジ相談2件、母子自立相談5件
男性相談(再掲2-(2)-、2-(3)- )	市民参画	男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数2件		
意識啓発の推進	子育てセミナー ・父親の家庭教育の参加の集い(再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-、3-(1)- )	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(小学校)7事業 参加者388人
	パパママセミナー(再掲1-(1)-、1-(1)-、1-(2)- )	こども福祉	H22～26	実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人 妊娠届数607(初産妊婦 266) 参加率:29.6%(48.2%)

展開する事業群(1-3-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野		事業所等への啓発等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
事業所への啓発	事業所への啓発の推進 ・母性保護についての啓発 ・父親の子育て参加等	社会福祉	H22～26	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。
	事業所への啓発の推進 ・労働時間短縮等のリーフレット等による啓発	産業振興		商工会において実施

展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績	
意見発表等の機会の充実	「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育 社会教育 こども福祉	H22～26	H22年12月5日(日)田辺中央公民館で実施。発表者小・中学生12名、作品応募総数921名。参加者数約300名。	
16 17 保育・教育内容や活動施設の充実( )	保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った	
	家庭支援推進保育事業( )	こども福祉		公立4保育所に 各1名の保育士配置	
	保育所園庭の芝生化	こども福祉		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた	
	保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善( )	こども福祉		教育総務室	保育所 河原保育所の園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を実施
					小学校 耐震補強工事に併せて、田辺小学校南校舎棟(西側)の大規模改修工事を実施した。田辺東小学校について、中校舎棟の改築工事を実施した。
					中学校 田辺中学校中校舎棟について、改築工事を実施した。 幼稚園 田辺東幼稚園、三山木幼稚園の園庭整備を実施し、施設の維持管理及び教育環境の改善を図った。
図書館活動の充実 ・図書の充実 ・手作りの本講習会等 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)- )	社会教育	市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回			
子育てセミナー (再掲1-(1)-、1-(2)-、1-(3)-、3-(1)- )	社会教育	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人			
特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キ・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した			
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)-、3-(1)- )	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校397千円、中学校141千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者38人	
	進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。	
	情報教育の充実 ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校ではコンピュータ教室を整備して、合わせて400台を設置した。 中学校でもコンピュータ教室の機器の更新を行った。また、国のICT環境整備の事業により89台の大型デジタルテレビを幼小中導入し、指導の効果を高めるICT活用が進んできている。 校務用パソコンが教職員に100%貸与されており、校務において非常によく活用されている。 教職員のICT活用能力も向上し、授業のための資料収集や教材作成、児童生徒の宿題等の作成に広く活用されている。	
	情報教育の充実 ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができています。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。	



展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員、主任児童委員への活動費の助)	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	保育所における相談事業 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	年間1,112人から相談を受けた
	児童館における相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール) (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯
	地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たっての関係部署等との連携強化等	こども福祉		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園教諭の研修会への参加。要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する
	10か月児発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	2歳児発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(2)-、2-(3)-)	こども福祉		実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業開始 公立3保育所91人実施
転入時アンケート (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(3)-)	こども福祉	転入者346人中 290人回収(83.8%)		
学校等における相談体制の充実	幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-、2-(3)-)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。

展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)	児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯
	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談 ( ) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人

## 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
教育活動の充実	職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	こども福祉	H22～26	年間、延べ213人が受研した
		学校教育		初任者については、年2回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の教員対象に年3回研修会を開催し、更に年2回幼稚園での保育実習参観を行い、試験交換を図った。
	学校教育	指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導		小学校1年生に学級運営支援員を配置した(三山木小、田辺東小、草内小)。
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	学校教育	H22～26	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。 「もうすぐ1年生」事業に全小学校で取り組み、交流給食や合同の文化鑑賞会、栽培活動等を実施した。
小・中学校の連携強化	小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修 (授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22～26	中学校ブロックによる合同研修 1回 / 学期 市教育研究会 1回 / 年
社会体育活動に係る情報提供	広報紙・ホームページ等による情報提供	社会体育	H22～26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、 市教育委員会社会体育課HP等で情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会体育	H22～26	市民体育大会 18種 1677人 少年交流大会124人 市民マラソン大会 505人 市陸上競技大会532人 水泳記録会111人 市民駅伝大会40チーム295人 市ハンドボール大会 49チーム451人 市ハンドボール交流大会 68チーム 606人
	スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	社会体育		幼児水泳教室87人 小学生水泳教室116人 障害児水泳教室6人 親子体操教室50組100人 少年スポーツ教室(中央) 47人 少年スポーツ教室(ハンド) 306人
	健康体力づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等	社会体育		生涯スポーツフェスティバル2010 3000人 市民プール無料開放 こどもの日 501人
スポーツクラブ等の育成	スポーツクラブ等の育成 京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ) の育成	社会体育	H22～26	社会教育関係団体等事業補助金要項に 従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援
野外活動センターの運営の充実	野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会体育	H22～26	野外活動に親しむ日 255人 夕涼みのつどい 83人 野外活動の集い 281人 わくわく体験クラブのべ1625人
地域組織によるスポーツの推進	地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会体育	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 のべ4076人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 のべ66人 水泳指導者研修会 23人
運動公園施設の設備の充実等	運動公園施設の設備の充実等	社会体育	H22～26	中央体育館及び有料公園施設の大規模修繕を行った。 田辺公園プールのリニューアル工事を行った。
青少年関係団体の育成・支援	各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月10日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡協議会 10月23日親睦スポーツ大会実施

展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
自然の中での体験学習の充実	野外活動のつどい (再掲3-(2)- )	社会体育	H22～26	野外活動の集い 281人
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲3-(2)- )	社会体育		野外活動に親しむ日 255人
	土曜わくわく体験教室 (再掲3-(2)- )	社会体育		わくわく体験クラブのべ1625人
	夕涼みのつどい (再掲3-(2)- )	社会体育		夕涼みのつどい 83人
ふるさと体験学習の推進	ふるさと体験学習 (小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3～4回の体験活動の機会を提供) (再掲3-(1)- 、3-(1)- )	社会教育	H22～26	9地域委員会 合計67事業 参加者総数 8,794人
図書館事業の推進	夏休み子どもフェスティバル (手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育	H22～26	中央館 人形劇 約290人 絵巻物紙芝居 85人 ヨーヨーつり 約350人 北部分室 腹話術と人形劇 195人 手づくり会 65人 中部分室 ヨーヨーつり 約180人 英語のおはなし会 29人 人形劇 約100人 手づくり会 約30人
	おはなし会 (再掲1-(1)- )	社会教育		中央館 61回・1,176人 北部分室 57回・649人 中部分室 27回・470人
	図書館活動の充実 (再掲2-(1)- )	社会教育		市内20箇所(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
国際交流の推進	海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22～26	・チュービンゲン大学同志日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生15名が普賢寺小学校訪問 秋期:留学生11名が桃園小学校訪問 ・ウイラル市との絵画交換、展示 本市429名、ウイラル市501名の作品を交換、中央公民館、北部・中部住民センターで展示会を開催。
	多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	国際交流体験の支援(ホームステイ受け入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受け入れなど)28件 Bタイプ(海外留学など)36件

展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
児童館事業の推進	なかよしクラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	こども福祉	H22～26	延べ利用者数 9,752人
豊かな人間性を育む教育の推進	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)- 、2-(3)- )	学校教育	H22～26	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人
子どもの居場所づくりの推進	子どもの居場所づくりの推進 (再掲3-(1)- )	社会教育	H22～26	新規開設地域は、なかった。42区・自治会のうち14箇所継続実施。
放課後子どもプランの充実 ( )	放課後子どもプラン( ) (再掲1-(3)- )	社会教育	H22～26	年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3677人

15

展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
4 19 各種手当の支給による支援 ( )	高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	こども福祉 社会福祉	H22～26	申請者18名  公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	子ども手当( )	こども福祉		支給児童 延べ93,464人 支給総額 1,215,032,000円 児童数(中学3年生まで対象拡大) 9,600人 受給者数 5,660人
	児童手当	こども福祉		支給児童 延べ13,248人 支給総額 86,520,000円 児童数 6,523人 受給者数 4,016人
	児童扶養手当( ) (再掲2-(2)- )	こども福祉		平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)- )	こども福祉		申請者471名
	交通通児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)- )	こども福祉		申請者3名(児童数4名)
	市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)- )	こども福祉		支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)- )	こども福祉		受給者数:101名
	市中心障害児童特別手当 (再掲2-(2)- )	こども福祉		支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円
4 子育て支援医療費の助成 ( )	子どもの医療費の助成( ) (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院:652件 26,370千円 入院外:87,042件 126,324千円
不妊治療費助成	不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ30人
保育・教育費用の負担軽減	保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	こども福祉	H22～26	対象67人に保育料の減免
	幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者374人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園19園に補助を実施した。実績32,658,900円。 市立幼稚園在園保護者延べ18人に対して518,000円の減免措置を実施した。
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)- )	学校教育		市立小学校児童580人及び中学校生徒425人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額小学校4,060千円、中学校6,375千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,617千円、中学校1,848千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校590人 37,425千円、中学校276人、12,831千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	留守家庭児童会負担金の減免	社会教育		生活保護世帯の負担金を全額免除

展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
人権意識の高揚	人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	該当のテーマは未実施
	わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマは未実施
	広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		『人権を考える情報紙』を8月、1月に市内全戸配布も、該当テーマの記事は無し
	ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		該当のテーマは未実施
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	『児童福祉週間』の実施	こども福祉	H22～26	4月23日～5月29日に週間を設置し、各種事業に述べ1,085人参加
	通常保育での充実(価値観の違いを認める意識の醸成)	こども福祉		障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展等 ・人権に係る学習会	社会教育	H22～26	人権教育研究会8月24日参加者250名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座)8月6日参加者50名 留守家庭児童会指導員人権問題学習会2月9日参加者56人 京田辺市ハートフルフェスタ12月4日参加者110人 人権に係る作品展示205点 子どもの人権に関する映画鑑賞 12月18日参加者33人

展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市障害福祉計画	各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具支給事業 ・日常生活用具給付事業	障害福祉	H22～26	居宅介護:利用者14名・利用時間4,612時間 行動援護:利用者10名・利用時間2,610.5時間 短期入所:利用者19名・利用時間491時間 補装具:購入24件・修理11件 日常生活用具:68件
	地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉		・相談支援事業(利用延べ件数10,020件、うち児童利用延べ件数469件) 移動支援事業:利用者53名・利用時間9199.5時間 日中一時支援事業:利用者413名(のべ)・利用時間9199.5時間
自立支援医療給付事業の推進	自立支援医療給付事業の推進(再掲1-(1)-)	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 37名
各種手当等の支給による支援	特別障害者手当	障害福祉	H22～26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。35人(児童)に支給。
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・特別支援教育就学奨励費(再掲2-(1)-)	学校教育		・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	特別児童扶養手当(再掲2-(1)-)	こども福祉		受給者数:101名
	市出身障害児童特別手当(再掲2-(1)-)	こども福祉		支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円
発達相談指導員による発達相談	発達相談指導員による発達相談(再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業の開始 公立3保育所91人実施
障がい児保育・教育等の推進	障がい児保育の実施(保育所での保育に欠ける障がいのある児童の受け入れ)	こども福祉	H22～26	40人
	障がいのある児童の訪問(再掲1-(1)-)	こども福祉		34件
	児童デイサービス事業	こども福祉		年間65人が利用した(実人数)
	サマースクール事業への支援	障害福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。10日実施。総参加者384人(うち対象者総数110人、ボランティア等総数73人)
	就学指導委員会活動の充実	学校教育		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円
	特別支援教育の推進	学校教育	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金34千円	
学校施設のバリアフリー化	学校施設のバリアフリー化(小・中学校への障がいのある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図る)	教育総務室	H22～26	未実施
留守家庭児童会の充実	留守家庭児童会での障がいのある児童の受け入れ	社会教育	H22～26	8児童会・14学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数502人。希望者全員受入。

展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		ひとり親家庭への支援

19

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (再掲2-(1)-)	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
母子家庭医療費助成事業	母子家庭医療費助成事業 (再掲1-(1)-)	国保医療	H22～26	平成22年度給付実績 1,936件 32,353千円
ひとり親家庭の日常生活支援	母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	こども福祉	H22～26	自立支援員未設置
	母子家庭日常生活支援事業(府制度)	こども福祉		府制度周知
	母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	こども福祉		1世帯入居
各種手当の支給による支援	児童扶養手当( ) (再掲2-(1)-)	こども福祉	H22～26	平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	市特別児童福祉手当 (再掲2-(1)-)	こども福祉		支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	母子家庭奨学金 (再掲2-(1)-)	こども福祉		申請者471名
	交通遺児奨学金 (再掲2-(1)-)	こども福祉		申請者3名(児童数4名)
ひとり親家庭の交流促進	ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	こども福祉	H22～26	新入学児童を祝い励ます会に参加者10名。 ひとり親家庭新入学児童35名にランリュックを贈呈
	京田辺母子会活動の支援 ・母子家庭交流事業支援等	こども福祉		会員数85人、補助金の支給7300円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った
職業技能訓練給付事業	高等技能訓練促進給付事業	こども福祉	H22～26	受給者2名
	自立支援教育訓練給付事業	こども福祉		受給者2名
ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	こども福祉	H22～26	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。
女性相談・男性相談	女性の相談室 (再掲1-(3)-、2-(3)-)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 チャレンジ相談2件、母子自立相談5件
	男性相談 (再掲1-(3)-、2-(3)-)	市民参画		・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数2件

展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22～26	・京田辺市生活ガイドブックの作成(日本語版、英語版)、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載
	外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-)	こども福祉		発行:英語1冊 中国語 1冊

展開する事業群(2-3-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	1	虐待防止のネットワークの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
要保護児童対策地域協議会の機能強化	代表者会議の充実	こども福祉	H22～26	年間2回開催
	実務者会議の充実	こども福祉		実務者会議 5回
	個別ケース検討会議の充実 (情報交換、支援内容の協議等)	こども福祉		のべ109件(44件)
虐待通告の対応体制の強化	市民よりの通告の対応体制の強化	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 こどもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成
	関係機関よりの通告の対応体制の強化	こども福祉		家庭児童相談室専用電話の設置
他機関との連携による見守り体制強化	他機関との連携による見守り体制の強化	こども福祉	H22～26	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、 ケース会議も随時開催する 警察より、泣き声通告、DV関係での報告増える。
	児童相談所への援助依頼・送致	こども福祉		児相関与ケース36人(21世帯) 援助依頼 7人(5世帯) 送致 0人 一時保護 3人(2世帯) 施設入所 1人(1世帯)
	警察との連携による緊急対応	こども福祉		警察からのケース連絡 11件 (内訳DV4件 近隣通告 4件 家庭内3)

展開する事業群(2-3-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		相談事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
各種健診における相談	3か月児健康診査 (再掲1-(1)-)	こども福祉	H22～26	年24回 対象児:558人 受診者:555人 受診率:99.5%
	1歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-)	こども福祉		年12回 対象児:623人 受診者:583人 受診率:93.9%
	3歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)-)	こども福祉		年12回 対象児:704人 受診者:609人 受診率:86.9%
各種発達相談における相談	10か月児発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉	H22～26	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	2歳児発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-、2-(2)-)	こども福祉		実88人(のべ106人) 幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所91人実施
	転入時アンケート (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉		転入者346人中 290人回収(83.8%)
家庭児童相談室での相談	家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(1)-)	こども福祉	H22～26	延べ1,619人・1,256世帯
地域子育て支援センター等での相談	地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉	H22～26	支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
保育所における相談事業	保育所における相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-)	こども福祉	H22～26	年間1,112人から相談を受けた
児童館における相談事業	児童館における相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(1)-)	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
幼稚園での相談事業	幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
学校における相談( )	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(1)-)	学校教育	H22～26	教育相談 相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	小・中学校でのカウンセラー・等専門家による教育相談( ) (再掲2-(1)-)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-、2-(1)-)	学校教育		適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人

18

民生児童委員・主任児童委員による相談	民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-)	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
女性相談・男性相談	女性の相談室 (再掲1-(3)-、2-(2)-)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 ・チャレンジ相談2件、母子自立相談5件 ・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件相談
	男性相談 (再掲1-(3)-、2-(2)-)	市民参画		

展開する事業群(2-3-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		訪問事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
保健師等による訪問	こんにちは赤ちゃん事業 (再掲1-(1)-)	こども福祉	H22～26	対象児:560人 受診者:522人 受診率:93.2%
	養育支援訪問事業 (再掲1-(1)-)	こども福祉		42件
	幼稚園、保育所への訪問	こども福祉		年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立3保育所にて開始 91人 巡回支援6回 集団観察3回 幼稚園については、健診後終観察のために、公立園9園、市外幼稚園にも必要時訪問している。
家庭相談員による訪問	妊婦への訪問	こども福祉	H22～26	1人1世帯
	要保護児童家庭への訪問	こども福祉		29人・17世帯
	施設退所後のフォロー訪問	こども福祉		0件
ヘルパーによる訪問( )	ヘルパーによる訪問( ) ・家事援助訪問 ・育児援助訪問	こども福祉	H22～26	産後ヘルパー派遣 10人 (のべ23人)

展開する事業群(2-3-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
市民に対する広報・啓発( )	ホームページの充実 (再掲1-(2)-、1-(2)-)	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載
	パンフレットの配布( ) (再掲1-(2)-、1-(2)-)	こども福祉		「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 こどもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成
子育て関係者等に対する啓発	子育て関係者に対するパンフレット等の配布 (再掲1-(2)-、1-(2)-)	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 児童虐待対応マニュアル作成、配布 2000冊 こどもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成

展開する事業群(2-3-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		虐待防止のための体制整備

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
研修の充実	研修の充実 ・講演会の開催 ・専門的研修の実施	こども福祉	H22～26	子ども虐待防止市民講演会11月17日 121名参加 保育士研修会 12月9日101名
子育て短期支援事業( )	ショートステイ事業( ) (再掲1-(3)-)	こども福祉	H22～26	未実施
集団生活における支援	集団生活における支援 ・学校との連携及び支援 ・幼稚園との連携及び支援 ・保育所との連携及び支援	こども福祉	H22～26	要保護児童の状況を確認、ケース会議の実施



展開する事業群(3-1-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		地域の教育力・社会力の向上

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
生涯学習人材バンク	生涯学習事業保育ボランティア事業 (市民の生涯学習事業支援のための人材派遣・輪 旋)	社会教育	H22～26	保育ボランティア登録者数222人 11月27日講演会4名派遣
子育てセミナーの開催	子育てセミナー (再掲1-(1)-、1-(2)-、1-(3)-、2-(1)-)	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人
ふるさと体験学習の推進	ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-、3-(1)-)	社会教育	H22～26	9地域委員会 合計67事業 参加者総数 8,794人
子どもの居場所づくりの推進	子どもの居場所づくりの推進 (再掲2-(1)-)	社会教育	H22～26	新規開設地域は、なかった。42区・自治会のうち14箇所継続実施。

展開する事業群(3-1-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		地域における世代間交流等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
高齢者等との交流の推進	大住ふれあいセンターでの交流事業の推進	こども福祉	H22～26	高齢者と小学生のグランドゴルフ交流会(年2回:5月・10月) 高齢者が子どもたちに技を伝授 高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月)
	保育所地域活動事業 ・世代間交流事業 (保育所児童の老人福祉施設等への訪問活動等) (再掲3-(1)-)	こども福祉		公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事 業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
ふるさと体験学習の推進	ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-、3-(1)-)	社会教育	H22～26	9地域委員会 合計67事業 参加者総数 8,794人

展開する事業群(3-1-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		地域における子育て支援団体等の活動の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員による子育て支援事業への支援	子育てサロン (再掲3-(1)-)	社会福祉	H22～26	親同士、子同士の気軽な交流の場として、 各地域で実施されている子育て支援事業 に対する民生委員・児童委員の活動を 支援した。
子ども会育成事業の推進	子ども会育成事業 ・地域子ども会の育成と支援	社会教育	H22～26	子ども体験教室(中央公民館事業)7月24日午前・午後延べ38人参加
子どもの遊び場情報誌の作成	子どもの遊び場情報誌の作成 (再掲3-(1)-)	こども福祉	H22～26	未実施
市民活動の支援	市民団体の活動助成	市民参画	H22～26	市民活動推進補助金の交付 3件
	(仮称)市民活動講座	市民参画	H22～24	市民活動講座の開催 8回シリーズ、受講生9人

展開する事業群(3-1-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		仲間づくり、子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
仲間づくりの支援	親子なかよし学級(幼稚園)	学校教育	H22～26	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立8園で実施し、参加実 績292組。
	子育てサロン (再掲3-(1)-)	社会福祉		親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て 支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
	ふれあい広場(児童館)	こども福祉		延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 500人 普賢寺児童館 761人 大住児童館 14,206人 合計 15,467人
	親子教室(児童館)	こども福祉		延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 6,051人 大住児童館 3,410人 合計 9,461人
	園庭開放(保育所)	こども福祉		4つの保育所が、年間96回園庭を開放し、延べ4,485人が利用した
	地域子育て支援センター事業	こども福祉		河原・大住子育て支援センターにおいて 園庭開放1,530人 親子あそび1,473人 すくすくサロン170人 サークル活動のサポート出前保育895名

育児サークルの支援	子育てサークルの支援 ・サークルリーダー交流会	こども福祉	H22～26	5月28日 大住児童館にて実施 10団体 大人21人こども12人参加 10月21日中央体育館でサークル運動会の支援 9サークル 大人58人 こども63人参加
	保健師等の派遣	こども福祉		サークルへ派遣 2回
	えぶるんママの派遣	こども福祉		サークルへ派遣 10回
	活動場所の提供等 (児童館、地域子育て支援センター等)	こども福祉		サークル活動のための社会福祉センター使用申請 年間 50回

## 展開する事業群(3-1-5)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		学校等における地域との交流の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
地域に開かれた保育事業の推進	保育所地域活動事業 ・保育所体験事業(園庭開放) ・育児講座 ・世代間交流事業 (再掲3-(1)-)	こども福祉	H22～26	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・社会人講師の活用 ・ボランティア受入れの促進 (再掲2-(1)-、3-(1)-)	学校教育	H22～26	同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者38人

## 展開する事業群(3-1-6)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野		大学との連携の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり (再掲2-(1)-)、3-(1)-)	学校教育	H22～26	同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者38人
5 子どもの遊び場情報誌の作成( )	子どもの遊び場情報誌の作成( ) (再掲3-(1)-)	こども福祉	H22～26	未実施

展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	(2)子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野		豊かな自然環境の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
2.1 京田辺市都市計画マスタープランの改訂及び実施( )	周辺環境・自然環境に配慮した土地利用の推進	都市計画	H21～22	都市計画マスタープランの改訂完了 ・周辺環境・自然環境に配慮した土地利用を推進するために将来土地利用方針について都市計画マスタープランに記載
自然体験活動等の促進	自然体験活動 (新甘南備山生活環境保全林の活用など)	農政	H22～26	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。
	野外活動のつどい (再掲2-(1)- )	社会体育		野外活動の集い 281人
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲2-(1)- )	社会体育		野外活動に親しむ日 255人
	土曜わくわく体験教室 (再掲2-(1)- )	社会体育		わくわく体験クラブのべ1625人
	夕涼みのつどい (再掲2-(1)- )	社会体育		夕涼みのつどい 83人
学校田、学級園等での野外活動体験活動	学校教育		各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施	
2.2 京田辺市環境基本計画に基づく総合的な環境施策の推進( )	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援( )	環境	H22～26	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、虫を通じた河川保全、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)
美化意識向上のための啓発 (市民一斉清掃の推進・美化啓発看板の設置、空き地除草の指導等)	環境	・市民一斉清掃を2回実施(延べ57団体)、参加者 17,413人 ・不法投棄防止看板30枚を制作 ・市内168箇所の空き地の除草指導を実施		
市民環境セミナー	環境	1回開催(3月6日、参加者 55人)		
地球温暖化防止活動の促進	環境	KES環境マネジメントシステム・ステップ2の認証(34公共施設)を得た		
水と緑のネットワークの推進	広幅員道路や河川を利用した緑的緑化と自歩道のネットワーク化	施設整備	H22～26	該当なし
2.3 緑化の推進( )	緑の基本計画策定( )	施設管理		見直しの検討
	誕生記念樹配布	施設管理	H22～26	H22.11.3(1回目)163名・H23.3.21(2回目)117名
	市民記念植樹祭	施設管理		H22.4.26 12組
循環型社会の構築( )	ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	清掃衛生	H22～26	広報紙2回 チラシ3回
	家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生		補助件数17件
	再生資源集団回収事業補助 (家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	清掃衛生		補助団体76団体 2,363t
2.4 循環型社会の構築( )	教室・講座 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生	H22～26	もの作り教室17回開催
	市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援( ) 京田辺エコパークかんなびを支援することにより、「3R」推進に取り組む。 リデュース(Reduce)ごみ減量 リユース(Reuse)不要品の再利用 リサイクル(Recycle)ごみ再利用	清掃衛生		京田辺エコパークかんなび支援
京田辺市の文化を次世代に受け継ぐ事業の推進	文化財の保護及び市民への情報提供等	社会教育	H22～26	市指定文化財に仏像2件を指定し、広報京たなべ、学びの情報誌、市ホームページを活用し情報提供をおこなった。

展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野		子どもの遊び場・交流の場の充実

25

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
身近な遊び場の整備	ストリートバスケット設置等	社会体育	H22～26	鶴沢公園(三山木)において老朽化による撤去及び再設置を行った
体育館・運動施設の開放	スポーツに親しむ日	社会体育	H22～26	スポーツに親しむ日 11回27.5時間のべ795人
公園の新設、整備等( )	近隣公園の整備	施設整備	H22～26	防賀川公園(東側)の整備用地買収
	街区公園の整備	施設整備		実績なし
	公園里親制度(アダプト制度)の普及( )	施設管理		里親制度モデル事業 西神屋公園及び田辺東幼稚園緑地緑化事業(H22.5.26/H22.12.13) 花の一休寺道緑化推進事業(H22.7.15)
	公園遊具の安全点検の推進	施設管理		平成22年度京田辺市都市公園維持管理業務上の日常(毎月:H22.4～H23.3)点検の実施
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-、3-(2)-)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率98.0パーセント ・仮換地指定率 94.2パーセント ・使用収益開始率 66.3パーセント

展開する事業群(3-2-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野		安心・安全の生活環境の確保

26

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市都市計画マスタープラン改訂及び実施	安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備	都市計画	H21～22	都市計画マスタープラン改訂完了 ・安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備に関する方針について都市計画マスタープランに記載
	交通事故防止のための交通安全施設の整備	都市計画		都市計画マスタープラン改訂完了 ・交通事故防止のための交通安全施設の整備に関する方針について都市計画マスタープランに記載
施設の安全対策( )	耐震診断士派遣事業	開発指導	H22～26	35件派遣
	市営住宅の耐震補強工事	開発指導		耐震計画策定
	保育所、幼稚園、小・中学校等各施設の耐震補強工事( )	こども福祉 教育総務室		保育所:必要な耐震補強工事は21年度で終了 小学校 大住小学校管理棟・管理特別棟、田辺小学校南校舎棟(西側)、新小学校南校舎棟について耐震補強工事を実施した。田辺東小中学校舎棟について、改築工事を実施した。 中学校 田辺中学校校舎棟について、改築工事を実施した。
登下校時の安全対策	登下校時の安全対策 ・緊急用の笛の配布	学校教育	H22～26	小学校新1年生児童及び転入生を対象にホイッスルを配布(計751個)
地域の防犯パトロール支援	京田辺市青少年問題連絡協議会防犯パトロール支援	社会教育	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月10日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-、3-(2)-)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率98.0パーセント ・仮換地指定率 94.2パーセント ・使用収益開始率 66.3パーセント
あんしん歩行エリア整備事業計画	交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画の進捗確認	都市計画	H22～26	あんしん歩行エリア(田辺地区)地区調整会議の実施(1回)
道路整備	幹線道路の整備	施設整備	H22～26	該当なし
	準幹線道路の整備	施設整備		歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行った。 ・河原浜新田線L=217m ・東興戸線用地測量 ・里ノ内小山線用地買収
子ども緊急避難場所等の指定	子ども緊急避難場所等の指定(商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	安心まちづくり室	H22～26	縦書き子どもの安心・安全円卓会議において検討した。
地域での防犯対策の充実	防犯灯の設置等	安心まちづくり室	H22～26	59基の防犯灯を設置した。
	地域防犯体制の育成(地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネットワーク化の構築)	安心まちづくり室		安心・安全行政連絡会議や警察協議会の場で検討した。
交通安全対策の充実	交通安全施設の設置及び管理	安心まちづくり室	H22～26	23ヶ所に道路反射鏡を設置した。
	交通安全意識の啓発	安心まちづくり室		京都府田辺警察署と合同で18回啓発を実施した。
放置自転車対策の充実	自転車マナーの向上の啓発	安心まちづくり室	H22～26	京都府田辺警察署と合同で4回啓発を実施した。 子ども自転車大会を実施した。

防災対策の推進	災害時の要援護者対策の推進 (市防災計画において、災害の影響を受けやすい乳幼児・妊産婦等への支援・救助体制を整備)	安心まちづくり室	H22～26	検討を実施した。
	自主防災組織の育成	消防本部	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火訓練 9件 841人</li> <li>防火講話 6件 380人</li> <li>地震体験 3件 235人</li> <li>避難訓練 3件 450人</li> </ul>
	消防団員育成・強化事業	消防本部		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種訓練 86回 2,666人</li> <li>消防学校入校 2回 7人</li> </ul>
1 安心・安全教育の推進( )	子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成( ) (再掲1-(1)-、1-(2)- )	こども福祉	H22～26	1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加
有害環境対策の推進	地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会	こども福祉	H22～26	・年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り ・年4回の綴喜地区環境浄化連絡協議会理事・幹事会を開催、2月に研修会開催

展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野		子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市バリアフリー基本構想策定及び実施	バリアフリー基本構想の策定	都市計画	H21～22	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー基本構想の策定(翌年度繰越)</li> <li>策定協議会の開催(4回)</li> <li>委員による現地視察の実施(21名)</li> <li>市民参加によるタウンウォッチング(25名)</li> <li>事業者協議</li> <li>パブリックコメントの実施</li> </ul>
	鉄道駅、道路、公園、駐車場等、公共施設のバリアフリー化 (既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	安心まちづくり室	H22～26	JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。
福祉のまちづくりの推進	道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者等に配慮した道路整備事業を行った。</li> <li>信楽街道踏切改良測量設計</li> <li>池ノ端大住ヶ丘線歩道切下げN=13箇所</li> <li>山手幹線自転車道整備L=250m</li> <li>通学路カラー塗装A=2480㎡</li> </ul>
		施設管理		
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-、3-(2)- )	三山木整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。</li> <li>家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。</li> <li>家屋移転進捗率98.0パーセント</li> <li>仮換地指定率 94.2パーセント</li> <li>使用収益開始率 66.3パーセント</li> </ul>

施策の体系

基本目標	施策目標	基本施策分野	事業	細事業	新規	拡大	* 計画外
1	1		10	32	1	1	1
			3	9			
			5	12	1	2	
	2		3	7			
			6	8		1	
			9	25		2	
	3		1	8		5	
			2	5		1	
			5	5	1	2	
			4	11		3	
			2	8		1	
			1	2			
			1	2			
2	1		4	13		2	
			3	14			
			1	5		1	
	2		9	12			
			4	11			
			4	4		1	
	3		4	15	1	2	
			4	7			
			3	16			
			7	16		1	
			8	2			
			1	8			
			3	8			
			10	19		1	
			3	7		1	
			2	3		1	
3	3	1					
3	1		4	4			
			2	3			
			4	5	1		
	2		2	10			
			2	2			
			2	2	1		
			7	21		4	
			4	8		1	
			14	23		2	
			3	4			
<b>3</b>	<b>8</b>	<b>38</b>	<b>164</b>	<b>369</b>	<b>7</b>	<b>35</b>	<b>2</b>

事業番号	事業番号	再掲	22年度事業予定	実施
1	1		3	1
			15	10
2	2.3			
	4			
	5.6			
	7.8.9	1.5		
	10			
3	11.12			
	13.14	12		
	15			
	16.17			
	18			
		15		
4	19	4		
		19		
		18		
4	20	5		
5				
5	21.22.23.24			
	25			
	26	1		
5(3)	26(15)	9		